

長泉寺

〒700-0807
岡山市北区南方3丁目10番40号
TEL (086) 223-7450
FAX (086) 221-0302
振込 岡山 01250-6-6418
ホームページ www.chosenji.net

長泉寺だより 第358号



「経^{きょう}」とは、仏の教えが書かれたもので仏教では極めて大切にされるわけだが、その対義語は何かわかるだろうか。

答えは「緯」である。わかりやすいのが経度と緯度で、地球上の位置を示す座標がそれである。経度が縦線で、緯度が横線であることは言うまでもあるまい。

では、なぜ仏の教えが「経」、即ち「縦」なのか？これには諸説あって一般的によく言われるのは、古代インドでは経典を紐^{ひも}（縦糸）で纏めていたからとか、経典は縦書きであるから、といったものである。方便としては、経典は人生の軸となるから縦。縦線（経）に従って横線（人生）を歩むからこそ人生はまさに美し

経

い織物となる、と。まるで中島みゆきの『糸』のようである。

「経」にはさらに、「経過」とか「経験」といった時間に関する意味もある。「縦」という捉え方も良いが、経典という意味では私はこの解釈が一番しっくりくる。

ひともし

経典は、読むこともあれば学ぶこともある。ただし日常的には「唱える」が基本である。唱えるには一定の時間と誠実さが必要で、手抜きはできない。それは、経典に書かれた文字を讀んでただ理解するだけでなく、その世界への没入を体験する時間である。ただ意味を理解してわかった気になっっているようではいけない。「経に成れ」——私が教わった先徳の金言である。（龍）

本尊法樂 先祖供養

万灯万華供養 本尊大祭

5月5日、6日、7日 毎夜 18時半～「万灯万華供養法要」

5月8日(金) 13時～16時半 結願「中曲理趣三昧法会」

法話 「福を得たり」

能化 沼野圭翠 師 四国霊場第79番札所 天皇寺（坂出市）住職

回向塔婆供養 2千円也／一本

灯籠供養 2千円也／一基

位牌供養申受け 3千円也／一基

※お位牌を本尊前にて三日三晩ご供養いたします

本尊厨子が開扉され 三日三晩 全九座の法要を奉修
回向塔婆 灯籠供養にて 檀徒各家精霊に回向を捧げます
5/8 結願には 岡山市内有縁の真言宗寺院様をご参集され
盛大な法要が執り行われます どうぞお繰り合わせご参拝下さいませ

詳しくは別紙ご案内用紙をご確認ください

節分星まつり

二月三日、毎年恒例の節分星まつりを奉修し、檀信徒をはじめご参拝の皆様への厄除祈願を行いました。

檀信徒の皆様が産まれながらに持つ本命星と、今年一年の当たり星である当年星、さらには寿命や福德をつかさどる元辰星に供養を捧げる「星供養法会」を厳修し、釜鳴護摩や、法楽太鼓、錫杖の音が鳴り響く中、お参りの皆様とともに「般若心経」、本尊「頂輪王咒」をお唱えしました。



法会後は、「備前太鼓唄弘西普及会」の皆様より獅子舞をご奉納いただくとともに、「鬼は外！福は内！」と豆まきを行い、皆様笑顔で、晴れやかなる春の訪れとなりました。
なお、厄除けの供物は、参拝者皆様に分けてお持ち帰りいただくとともに、一部は児童養護施設「若松園」様にご寄付させていただきます。ご協力いただいた皆様には厚く御礼を申し上げます。

涅槃会

釈尊入滅日である二月十五日、玉佛釈迦如来像を祀る玉佛堂に涅槃図、並びに十六羅漢図を掲げ、そのご遺徳を讃嘆する涅槃会を奉修しました。

涅槃会と言え、当宗では「涅槃」、「羅漢」、「遺蹟」、「舍利」と四座に分けて行う「常樂会（四座講式）」を奉修するのが一般的ですが、あまりにも長時間となるため、当山では四座それぞれにある「和讃」を中心にお唱えし、いわば常樂会のダイジェスト版のような形で奉修しております。

今回は、ご遠方よりホームページを見て来たとされる方も複数名いらっしゃり、玉佛堂を建立（令和四年）以来奉修している当法会も、少しづつ皆様に定着してきているのではないかと法悦歓喜させていただいた次第でございます。

寺子屋文化講座



一月二十三日、赤磐市山陽郷土資料館で学芸員を勤める田中愛弓氏を講師にお迎えし、「第五十五回寺子屋文化講座」を開講しました。今回のテーマは「木喰仏」で、江戸時代後期の遊行僧である木喰が赤磐市の和田に造り残した仏像について、詳しく解説をいただきました。
次回の寺子屋文化講座は、三月二十五日、岡山市歴史調査専門監である草原孝典氏を講師に招き、「稲作の起源」について学びます。

コンサート環

長泉寺合唱団ナーガは二月一日、ルネスホール（北区内山下）で行われた「コンサート環」に出演いたしました。

同コンサートは、ナーガの指導者でもある佐々木英代先生が主宰されるもので、先生がご指導されている合唱団が複数出演する内容です。

ナーガも練習の成果を發揮し、素晴らしい歌声を届けることができました。



ご詠歌巡礼



当山ご詠歌会は一月二十七日、四国八十八ヶ所霊場第七十九番札所天皇寺様（香川県坂出市）へお参りしました。同山ご住職である沼野圭翠師がお出迎え下さり、本堂にてご詠歌を奉納させていただきました。

また、二月二十四日には総社市にある備中総社宮様へ参拝。同社と歴史に関わりの深い松尾寺様（同社近く）にてご詠歌を奉納させていただきました。

真言宗の開祖である弘法大師

空海様は、宝亀五年（七七四）

六月十五日にご誕生されました。

岡山市内の真言宗寺院十五ヶ

寺で結成される「岡山市弘法大

師降誕会」は、毎年六月十五日

にお大師様のご誕生をお祝いす

る「青葉まつり」を開催し、慶

祝法会、並びに灌仏儀を奉修し

てきました。

本年は、同会としてお大師様

の幼少期の御姿を表した「稚児

大師像」を新調するにつき、ご

参拝の皆様にご披露させていた

だくとともにお大師様とのご縁

をより深く結んでいただくため

の法会を長泉寺で執り行います。

どなたでもお参りいただけま

すので、どうぞお繰り合わせご

参拝下さい。

合掌

岡山市弘法大師降誕会

弘法大師ご誕生慶祝

青葉まつり

※日時※

令和八年六月十五日(月)

◇第一会 午後一時～

◇第二会 午後二時半～

二座奉修しますので、いずれかの時間にご参拝下さい。なお、当日参拝者多数の場合はお待ちいただくことがあります。ご了承下さいませ。

会所 長泉寺

◇当日限定「特別朱印」も用意しております（奉納五百円也）

参拝料五百円也(記念品有り)

服装自由・申し込み不要



長泉寺奉讃会だより

長泉寺客殿修繕および檀信徒文化会館新築奉讃会（略称…長泉寺奉讃会）は、本年一月八日に発足して以降、総代会定例会においてその内容を検討しながら、少しずつ事業を前へ進めております。

現在、左記三点について取り組んでおりますのでここに紹介いたします。

一、檀信徒文化会館新築工事に向けた境内整備

今秋より着工予定である檀信徒文化会館「**薬園山荘**」の新築工事に向けて、境内に大型の重



機が入れるよう整備しております。

先月から今月初旬にかけて、境内中央に位置している大きな楠木を剪定し、**長寿泉**（境内西側にある池）近辺の樹木、および石類を一時的に撤去しました。なお、戦没者精霊の供養塔「**安らぎの塔**」も、工事中は別の場所へ一時移動しており、**薬園山荘**が完工した後に元の位置に戻る予定です。

二、「薬園山荘」の間取り調整

新たに境内西側（現在の西側駐車場）に新たに建立する檀信徒文化会館「**薬園山荘**」の間取りについて、細部の調整をしております。およその間取り案につきましては、当奉讃会発足前に行った「事前検討委員会」において、檀家中の有識者を交えて検討を終えています。実際の施工に向けて細部の調整や仕上げについて施工業者との間で行っています。※**薬園山荘**間取り案（次頁上図）

三、協賛寄附金のご依頼

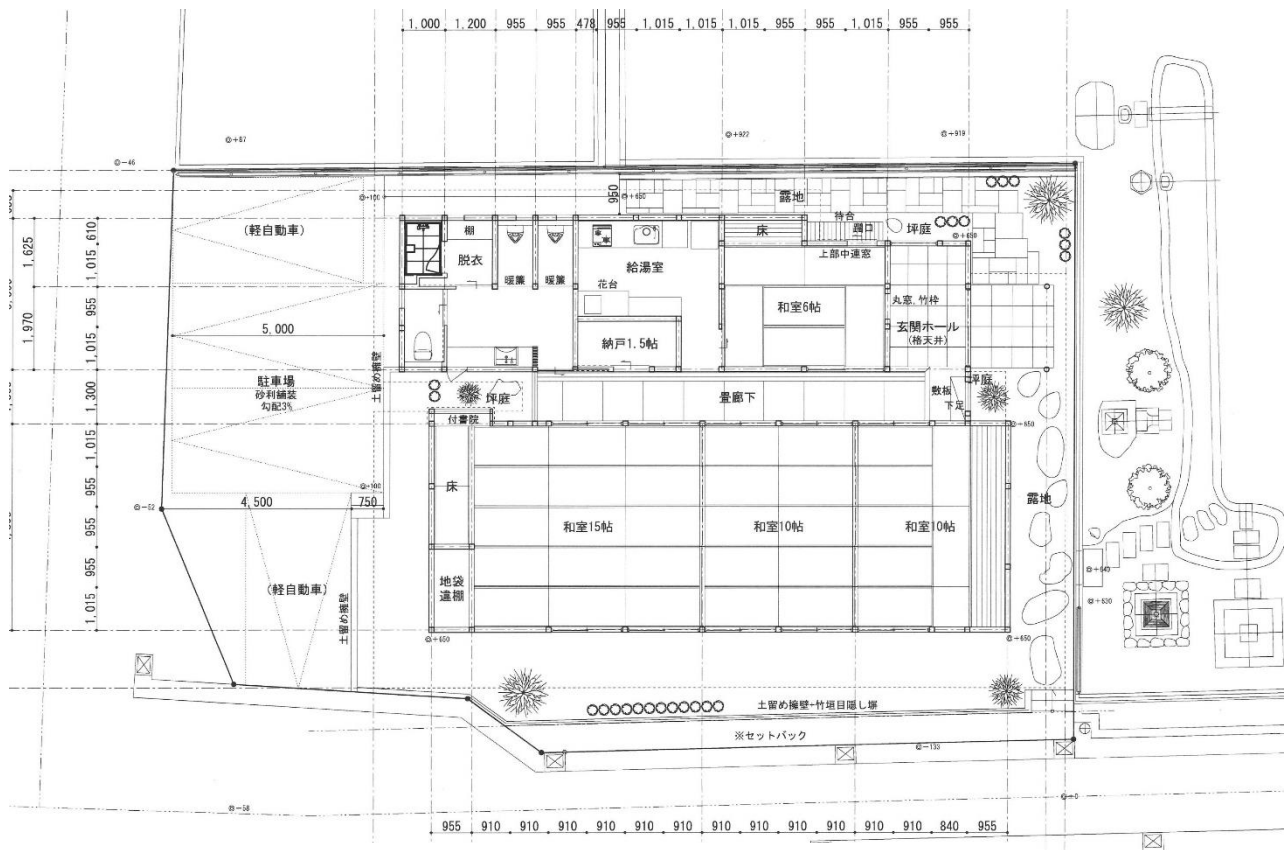
檀信徒皆様に対しまして、当奉讃事業へのご理解とご協力を賜りますよう、様々な形でお願いをさせていただいております。また、今春の彼岸行より、協賛寄附金の受付も始まります。任意のものではありませんが、未だの檀信徒に安心安全なる伽藍を継承していくため、可能な範

囲でぜひともご協力をお願いいたします。

繰り返しになりますが、檀信徒一丸となって当事業の無難成満を目指して参りたいと存じます。よろしくお願いたします。なお、詳細につきましては、別途ご案内をご確認下さいませ。



「**薬園山荘**」イメージ



現在検討中の「菜園山荘」間取り図案

東日本大震災

十五周年忌追悼法会

平成二十三年に発生した東日本大震災の物故者を弔うため、同震災発生日である三月十一日、当山本堂にて理趣三昧法会を奉修しました。

龍門住職が法会の導師を勤める中、寺内僧侶が般若理趣經を讀経し、物故者に回向を捧げるとともに被災地、被災者の皆様の安寧を祈願させていただきました。

龍門住職は十五年前の同震災発生直後、人道援助宗教NGOネットワークRNNのメンバーとして、特定非営利活動法人AMDAの被災地支援活動に参加する傍ら、岩手県釜石市において遺体安置所での読経や避難所となった寺院での勤行等を勤めた経緯があります。以来、毎年同震災の追悼法会を様々な形で行ってきました。

ボランティア基金会だより

志納金 一九、二七五円

令和七年十二月〜令和八年三月六日

◆ボランティア基金

中村久美子、石原縉吾、伊藤圭子、白神美保、朝森喜久子、朝森弘英、佐藤恭子

◆能登半島地震被災地救援募金

行本美子、石原敏江、光岡香里、朝森喜久子、植田保雄、佐藤恭子、竹中新円、伊藤圭子、長江志満子、白神美保

◆ウクライナ難民支援

朝森喜久子、朝森弘英、佐藤恭子
(以上 敬称略)

いただいた浄財は、RNN人道援助宗教NGOネットワークを通じて特定非営利活動法人AMDAによる各種支援活動に寄託させていただきます。ご協力に心より感謝を申し上げます。

長泉寺ボランティア基金会

ゆうちょ銀行 総合口座
15460 30539111

他の金融機関から振込む場合は
【店名】五四八 【店番】548
【預金種目】普通預金
【口座番号】3053911

ご協力をお願いします

今回より、檀信徒皆様に当山の歴史を深く知ってもらうための「長泉寺縁起」のようなものを綴ってみよう・・・と思っていたところ、先代の光研こうけん名誉住職が今から約四十年前（ということは今の私と同年ぐらいの頃？）にしっかりと書き残してくれていたものがありました、私が述べるのもおこがましいですが、これが実に読みやすく、良くまとめられている文章なのです。ということと今回より、光研名誉住職が昭和五十九年に編纂した『長泉寺の歴史』の中で『長泉寺五百年史 長き流れはいつみに満ち 寺ここにあり』というタイトルで掲載したコラムを再連載してこのように存じます。

長江のあとに草建

長泉寺は永正六年（一五〇九）七月、大法師・宥詮ゆうせんのご開創に関わる。これは大師堂の棟札の

記録にみられるとされていますが、現存していません。かつての「三野郡南方村」にある唯一のお寺です。

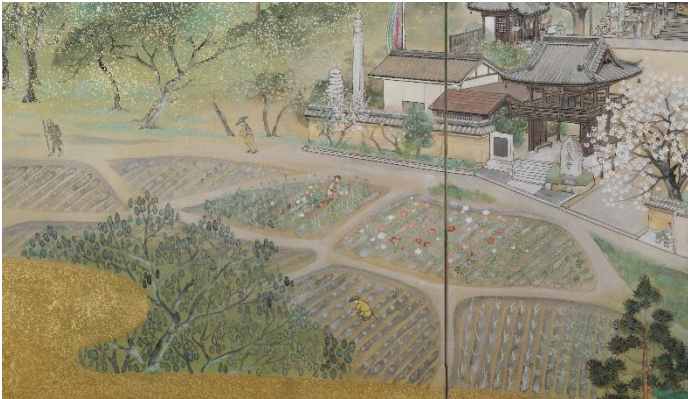
その昔、南方はこの辺りの地名がほとんど「海」に由来するように、かつては北の干潟に対する「南潟」だったといわれます。とくに当山の辺りは「長江の葦原」と呼ばれ、湿地帯だったことは蓮田が多くあったことで知られます。そこに集落が生まれ、やがて田園の美しい里になりました。堀川百首の中、『箕里歌枕みり』に、

五月雨のぬるるもしらぬ
みの里の 門田のさなへ
いそきとるなり

室町の末期、どうやら誕生したらしい当山ですが、初めはどんなだったでしょう。岡山に宇喜多氏が入り、城下町を築きはじめたのが天正元年（一五七三）ですから、それよりいくぶん早いです。ささやかな草堂が結ばれて

いたと想像されます。

名称「長泉寺」の由来は定かではありませんが、古代「長江の葦原」と呼ばれていた地名から名づけられたものか。山号「葉園山」は、宇喜多氏の時代から寺域に葉草園があり、池田藩になってそれが藩学校附属葉草園にされた。またご本尊が薬師如来であることから名づけられたのでしよう。院号は「医王院」と称します。



いしづえを築いた歴代

当山の過去帳によると、開山和尚「宥鑿」として残っています。宥詮の名と異なるわけですが、この宥鑿和尚の遷化が元和十年（一六二四）と確かめられますから、百年余りの時差があり、そこは戦国期の擾乱をみないわけにはいきません。

江戸の二六〇年間、今に判明する歴代は本誌・年表の通りです。この他、十余名が在任したことが考えられ、年表内のように遷化された時、処が定かにかれないものがあります。

岡山の城下町ができ、幕府の法度もあって当山のお檀家も調い、その数も増えてきました。寛文年中、最古の霊名が記録されています。

この寛文六年（一六六六）、備前藩主光政はいわゆる「寺院淘汰」を断行します。この事件が藩内の生活民の心をどんなに傷め、その信仰をそこなったことか。当山は幸い、この難を脱か

長泉寺歴代 年月日は遷化日

- 1 宥詮 (或は「瑩」の下に「心」)
元和10年(1624)5月28日
- 2 弘長 慶安5年(1652)10月13日
- 3 宥深 天和2年(1682)6月4日
- 4 審教 元禄5年(1692)7月2日
- 5 傳長 // 17年(1702)1月8日
- 6 審專 享保11年(1726)4月23日
- 7 覚審 延享3年(1746)9月15日
- 8 覚傳 寛延元年(1748)7月28日
- 9 宝遍 宝暦9年(1759)3月19日
- 10 快玉 不明 移住か
- 11 瑞元 天明8年(1788)9月1日
- 12 瑞翁 不明
- 13 弘運 寛政9年(1799)11月21日
- 14 春雄 不明
- 15 英純 天保11年(1840)12月9日
- 16 観月 法界院に転ず
明治38年(1905)3月7日
- 17 妙達 天保12年(1841)6月6日
- 18 光諄 明治5年(1872)5月28日
- 19 光映 // 40年(1907)12月20日
- 20 光俊 紀州高山寺 河内天野山金剛寺を厩住
昭和32年11月26日
- 21 隆門 勝山町観音寺で化す
昭和21年(1946)3月20日
- 22 大連 // 13年(1938)9月28日
- 23 秀禅 // 37年(1962)9月26日
- 24 宥中 // 37年(1962)8月30日
- 25 秀昭 玉野市中蔵院で化す
平成25年(2013)5月30日
- 26 光研 現名誉住職
- 27 龍門 現住職

れたようですが、当時の住職・宥深や檀家がどのようにこれを克服したか、今は不明です。

池田候はその非に気づき、すぐに崇仏に帰しますが、綱政の時代のエピソードに「白須賀観音」の霊験が伝えられています。ご詠歌に、

遠くともたづねてまいれ
しらすかに 後の世までも
たのむ身なれば

とうたわれ、今に「白須賀さま」の御名で信仰されています。

弘法大師像が刻まれたが明和

元年(一六五五)審教の代です。現存する最古の銘文がこの尊像にのこされています。

願主 備前国三野郡廣瀬
南方村 長泉寺審教良尊
弘長尊位遺弟造立之而已
明暦元年乙未年

奉造立南無大師遍照金剛

霜月吉日

為二世安樂講中菩提而已

仏師 岡山小橋町住

片岡文右衛門

縁日にぎわう幕末期

元禄十五年(一七〇〇)、観音

霊場「岡山三十三番札所」が開かれ、当山は第三十一番に定められます。また宝暦三年(一七五

三)に「弘法大師二十一ヶ所廻り」(国富瓶井山理證院の住持が設置を藩にねがい出る)が始まり、第二十番の霊場になるなど、人びとに親しまれ、縁日にぎわうようになりました。

本堂がいつできたか。享保十五年(一七三〇)の在銘「鬼瓦」があり、もしかしたらこれが創建に関わるのでしょうか。やがて享保十九年、大師九百年忌を迎え、その記念事業であったか

もしれません。ご本尊薬師如来像の造立・勧請もこの時期でしょうか。

大師の御遠忌は天明四年(一七八四)の九五〇年忌、天保五年(一八三四)の一千年忌と東寺、高野山を中心にくりひろげられます。当山は京都・御室末のお寺であったためか、記念塔も立てられず、それらしい記録もありません。ご縁日の二十一日の月次「御影供」がにぎわったこととはしのばれます。

次号に続く

長泉寺 寺子屋 文化講座

Vol.56

稲作の起源

日本列島では、今から約二五〇〇〜三〇〇〇年前に朝鮮半島から水田稲作が伝わり、農耕社会がはじまりました。その後、社会は複雑化し、律令国家が成立します。稲作の開始によって、日本列島の社会は急激に変化したのです。

今回は、その出発点となった稲作が、どのような過程で日本列島に定着したのかを、我々の住んでいる岡山の視点から紹介します。



講師: くさはらたかのり 草原孝典先生 岡山市観光振興課 岡山市歴史調査専門監

3月25日(水) 19:00~20:30 於:長泉寺本堂

参加無料・予約先着 50名 参加ご希望のお方には、事前にお電話にてお申込み下さい。

神仏習合の
聖地を歩む

伊勢街道巡礼の旅

総本山長谷寺 松坂城下町 齋宮跡 伊勢神宮 金剛證寺

4月17日(金)~19日(日)

主催 長泉寺 杖心会

詳細は別紙案内状をご覧ください

定員先着
30名

参加費 75,000円 大人1名様

交通・宿泊・食事費用等込み
宿泊は基本的にシングルルームとなります
移動は長泉寺発着の貸切バス(トイレ付)を利用します

将棋クラブ

毎月一回 客殿で開催中
参加無料

■94回目
3月15日(日) 13:30-16:00

■95回目
4月12日(日) 13:30-16:00

いつも集まったメンバーで楽しくやっています。どなたでもお気軽にご参加ください。

長泉寺将棋クラブは本年9月に開催百回目を迎えます。その際には倉敷市出身のプロ棋士狩山幹生五段をゲストにお迎えし指導対局をしていただく予定です。どうぞお楽しみに！

釈尊ご誕生慶祝 花まつり

4月8日(水) 13時~15時

於:後樂園鶴鳴館 主催:岡山市仏教会

永代供養塔 樂陽廟

春秋祭

4月21日(火) 11時~

奉修 合同追悼法要 於玉佛堂